

2026. 9月



ほけんだより No.5

犬山市子ども未来園

まだまだ残暑が厳しく、引き続き熱中症への注意が必要です。予防には、こまめな水分補給や戸外、室内の温度管理などの他に、早起き・早寝で睡眠時間を確保すること、3食バランスの良い食事を摂ることも大切です。日々の生活を振り返ってみましょう。

また夏の疲れも出てくる頃です。体調管理に留意しましょう。

登園前の体調チェック

元気いっぱい遊ぶために園では毎朝、登園してきたお子様の健康観察を行っています。ご家庭でも登園前は、次のようなポイントでチェックをし、当てはまる項目がある場合は、お家でゆっくり過ごされることをおすすめします。



<発熱>

- ☐ 24 時間以内に 38℃以上の熱が出た場合、又は、解熱薬を使用している場合
- ☐ 朝から 37.5℃を超えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食・水分が摂れていないなど全身状態が不良である場合
(※ 発熱時の体温はめやすであり、個々の子どもの状態に応じて個別に判断が必要)

<咳>

- ☐ 夜間しばしば咳のために起きる
- ☐ 呼吸が速い、少し動いただけで咳が出る
- ☐ ゼイゼイ音、ヒューヒュー音や呼吸困難がある

<嘔吐>

- ☐ 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がある
- ☐ 嘔吐に伴い、いつもより体温が高い
- ☐ 食欲がなく、水分も欲しがらない
- ☐ 機嫌が悪く、元気がない
- ☐ 顔色が悪く、ぐったりしている

<下痢>

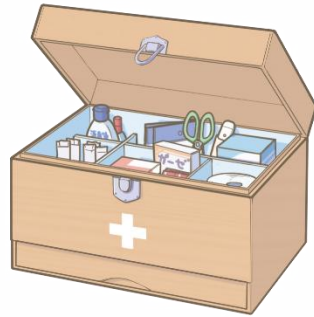
- ☐ 24 時間以内に 2 回以上の水様便がある
- ☐ 食事や水分を摂ると、下痢がある
(1 日に 4 回以上の下痢)
- ☐ 下痢に伴い、体温がいつもより高い
- ☐ 朝 排尿がない

★登園後も上記のような症状がみられた場合は、発熱がなくても連絡させていただくことがあります。 早めの受診と休息をおねがいします。

<参照> こども家庭庁 保育所における感染症対策ガイドライン

9月9日は救急の日

救急箱の中を
確認してみましょう



変色していたり、
においが変わっていませんか？

使用期限は過ぎていませんか？

なくなっている薬は
ありませんか？

「転倒」・「転落」・「窒息」 乳幼児の事故は、交通事故よりもこれらの割合が多く、身近な生活の場でも起きています。

家庭の中でも事故が多い・・・。
「のびのび遊ばせてあげたい」どんなことに気を付けたらいい？



★「だめ！」「危ない！」の前に、しっかり予防を

危ないからと叱ってばかりだと、親子で嫌になってしまいますよね。
家の中は整理整頓し、危ない物は置き場所を変えたり、危険が低くなるよう工夫しましょう。

★子どもの目線で実際に動いてみる

大人からみると大丈夫と思うことでも、子どもの目線で動いてみると危険なこともあります。

★「まだまだできないから、大丈夫」 この油断が危険

“昨日出来なかったことが、今日できるようになる” 目覚ましい成長の時期でもあります。
成長に合わせた対策が必要です。

「子どもを事故から守る！事故防止ハンドブック こども家庭庁」には、
0～6歳までの子どもに予期せず起こりやすい事故とその予防法などがまとめてあります。
参考にチェックしてみてもいいかもしれません。

急な病気・けがなどで、受診するか
どうかの判断に迷う時の参考に

★こどもの救急ホームページ

(公益社団法人 日本小児学会)

<http://kodomo-qa.jp>

★小児救急電話相談 #8000

楽田西子ども未来園では、『病後児保育』を実施しています。病後児保育とは、専用スペースにて病気の回復期にあるお子様を一時的にお預かりする保育の事です。

「病後児保育について」・「お子様の健康について」等相談があれば、お気軽に下記までご連絡ください。

【連絡先】楽田西子ども未来園 ☎0568-67-2761 (月曜日～金曜日 9:00～16:00)

総合犬山中央病院では『病児保育』を実施しています。

【連絡先】総合犬山中央病院 ☎080-7036-1328 (月曜日～金曜日 9:00～16:00)